

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年2月19日

中国運輸局

離島航路運営費等補助金及び離島航路構造改革補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
(有)阿多田島汽船	阿多田～小方航路	新型コロナウイルスの感染 拡大などの影響により利用客 は減少したものの、釣り客の増 加に最大限協力し、運賃収入 の増加を図った。	A	B	島内人口が減少傾向にあり 島民の利用増が見込めないな か、島内の「海上釣り堀」2社の 利用客が増加しているため、乗 船定員をオーバーすることもある。このため、両釣り堀代表者と 利用者見込みの連絡調整を 行うことで、付船等により対応 し、釣り客の増加に対応できる よう引き続き努力し、運賃収入 の増加を図る。	・概ね目標として設定してい る運航回数を達成しており、 事業は適切に実施されてい ると評価できる。 ・航路利用者以外の関係者 と連携した収益増の取り組 みは、活性化に向けた一体 的な取り組みとして評価でき る。 ・今後新船の建造も控えてい ることから、航路としての需 要を適切に把握し、さらなる 利便性の向上及び利用客の 増加に努めていただきたい。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
走島汽船(有)	走島～鞆航路	荒天時での早期欠航判断及び乗船客への連絡により、安全・安心した航路運営が行えた。また新型コロナウイルス感染症予防対策として、乗船時での検温、手指消毒、船内の消毒等行う。陸上養殖施設整備で一定程度の利用があった。	A	B	島民が減少する中で、島民を含めより安全で利用しやすい航路運営に努める。また、わかめの陸上施設が完成し、出荷が開始され一定程度の利用が期待される。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・コロナの状況を見極めながら、陸上施設を来島者増加につなげる要素としてうまく活用できるよう、利用者の要望やニーズを的確に把握し、利便性の向上及び利用客の増加に努めていただきたい。	
備後商船(株)	常石～尾道航路	利用実態に合わせ、利用者の利便性を確保したダイヤを検討している。 船舶の更新については、航路改善協議会を開催し、航路改善計画の策定に取り組んでいる。	A	B	航路改善協議会において、航路の在り方を検討し、小型化による効率化を図るため、老朽化した旅客船を更新することとした。 今後は、船舶の更新と並行して、引き続き、利用者の利便性を十分確保した上で、運航の効率化について検討していく。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
尾道市	細島～西浜航路	主機及び補機の徹底したアイドルリングストップを実施し、10月から9月までの対前年比で、本船(用船を除く)の運航回数が微増している状況において、軽油約2,000リットル(年4%相当)を削減した。	A	B	細島側からの船員応募が望めない現状において、細島始発が船員確保の障壁となっている状況にあるため、母港を西浜に変更し、安定した船員確保を目指す。 併せて、平日の始発及び終便の利用実態を踏まえて、平日の運航回数を変更するとともに、始終発時刻を変更する。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・航路独自の経費削減策も実施しており、航路維持に向けた積極的な取り組みを行っているものと考ええる。引き続き離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	
大崎上島町	白水～契島航路	経費削減に努めたが、新船から5年目の定期検査であるため、費用増となった。結果、収支の改善に至らなかった。	A	B	人口が減少傾向にあるため、運航収入の増加は見込めない。 経費削減により運航収支の改善に努める。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
斎島汽船(株)	斎島～久比航路	島内人口の減少及び島民の高齢化が進み、旅客運賃等の収入が前年度に比べ若干減少した。 また、費用面においては、燃料費や船員費は若干減少したが、クラッチのオーバーホールに伴う船舶修繕費の増加により前年度に比べ増加した。	A	B	収入の増加は見込めない中で、船舶の老朽化等により費用の増加が見込まれる。 こうした中で航路を維持していくため、今後、市が作成した「第三セクター等経営健全化方針」も踏まえながら、収支改善に努めるとともに、適正な運航便数等について検討していく。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・今後も健全化方針記載の運航経費削減策について、地域関係者等と連携を取りながら積極的に進めていき、航路の維持・確保が図られることを期待する。	
斎島汽船(株)	三角～久比航路	島内人口の減少及び島民の高齢化が進み、旅客運賃等の運航収入は前年に比べ減少した。 また、費用面においては、燃料費は若干減少したが、主機及びクラッチのオーバーホールに伴う船舶修繕費の増加により前年度に比べ増加した。	A	B	収入の増加は見込めない中で、船舶の老朽化等により費用の増加が見込まれる。 こうした中で航路を維持していくため、今後、市が作成した「第三セクター等経営健全化方針」も踏まえながら、収支改善に努めるとともに、適正な運航便数等について検討していく。	・概ね目標として設定している運航回数を達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・今後も健全化方針記載の運航経費削減策について、地域関係者等と連携を取りながら積極的に進めていき、航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
三洋汽船(株)	笠岡～飛島～六島 航路	運航経費の削減に努め、安 定的な航路の維持を図った。	A	A	島しょ部住民の高齢化や人口 減少が進む中、今後も引き続 き、運航事業者と行政が連携 を図りつつ、島しょ部のイベント 等の活用や情報発信を行い、 島外利用者の誘致によって、 航路維持を図る。また、離島航 路改善計画に基づき、航路の 再編を行い、航路の効率化を 図る。	・航路において目標としてい る旅客輸送人員を達成して おり、事業は適切に実施され ていると評価できる。 ・バリフリ対応船舶の導入に より島民の利便性は大幅に 向上し、修繕費の削減等経 費の節減も図ることができた 点については評価できる。 ・引き続き、島のイベント等、 地域一体となった利用促進 及び情報発信に取り組んで いただきたい。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
三洋汽船(株)	笠岡～佐柳本浦航 路	運航経費の削減に努め、安 定的な航路の維持を図った。	A	B	島しょ部住民の高齢化や人口 減少が進む中、日本遺産認定 を起爆剤として、今後も引き続 き、運航事業者と行政が連携 を図りつつ、島しょ部のイベント 等の活用や情報発信を行い、 島外利用者の誘致によって、 航路維持を図る。また、離島航 路改善計画に基づき、航路の 再編を行い、航路の効率化を 図る。	・新型コロナウイルスの影響もあり、航路において目標としている旅客輸送人員を達成することはできなかったが、島民の生活の足として安定運航を確保し続けたことは生活航路の責務を果たすものとして評価できる。 ・寄港地の集約化については、さらなる経費の節減につながるものだが、利用者の生活に大きな影響を及ぼす可能性もあることから、地元住民の意向を十分踏まえたうえで実施していただきたい。 ・引き続き、島のイベント等、地域一体となった利用促進及び情報発信に取り組んでいきたい。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大生汽船(株)	大多府～日生航路	運航経費の削減に努め、安定的な航路の維持を図る。	A	B	島しょ部住民の高齢化や人口減少が進む中、今後も引き続き、運航事業者と行政が連携を図り、島しょ部の観光資源の活用や情報発信を行い、島外利用者の誘致及び離島住民の生活を支える交通手段として航路維持を図る。	・航路において目標としている旅客輸送人員をおおむね達成しており、事業は適切に実施されていると評価できる。 ・寄港する島が別荘地として注目されており、コロナ禍にあっても一定の需要が継続的にあったことから、引き続きこれら観光資源の活用等、地域と一体となった利用促進及び情報発信に取り組んでいただきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
萩海運(有)	見島～萩航路	日々の点検を積極的に実施するとともに、運航時のエンジン出力を抑制することで燃料費や修繕費の経費削減に努めた。 見島新船「ゆりや」のエンジン大型化に伴い燃料消費量が増加したが、燃油単価の減により燃料費は減少した。 また、修繕費については、新船の就航により、中間検査費用等が減少した。 新型コロナウイルス感染症の影響による渡航自粛等により、工事資材等の運搬が減少し、貨物運賃収入が対前年比92.2%となったが、見島生活店舗の開設により、萩港発見島港着便については、対前年度比99.0%と微減に留まった。 利用促進のため、島おこし団体等を通じて情報発信を行うとともに、リーフレット等の配布や観光協会が実施する滞在型観光事業への協力を行い、交流人口の増加を図った。	A	A	船舶のエンジン大型化に伴う燃料消費量の増加が見込まれるが、引き続き、日々の点検を積極的に実施し、運航時のエンジン出力を抑制するとともに、燃料費や修繕費の経費節減に努める。 令和2年度から、萩市高齢者移動支援事業により、高齢者の外出機会を促進する取組が開始されており、運賃収入の増加が見込まれる。今後も、市が実施する離島振興事業との連携に努め、乗客・荷物輸送量の増加を図る。 また、島おこし団体や観光協会等を通じて、更なる情報発信を行い、交流人口の増加に努める。 相島新船の就航に合わせ、ダイヤの見直しを行い、利用しやすい運行時刻を検討するとともに、新船の名称を公募し、離島航路への関心を高める。 【今後の対応】 様々な新型コロナウイルス感染症対策を継続し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、乗船客数の維持に取り組む。また、航路情報のGTFS対応のため、職員研修を行い、案内業務のデジタル化を進める。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・GTFS対応など、従来はなかった分野での航路活性化策も進めており、新しい取り組みとして評価できる。 ・船舶の大型化に伴い燃料費が増加したが、引き続きエンジンの効率的な運用を行う等、経費の削減に努めていただきたい。 ・船舶代替により懸案であったバリアフリー化等による快適性の向上や航海の安全性向上が図られており、島のイベントや観光資源等を活かした利用促進及び情報発信の更なる取り組みを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
大津島巡航(株)	大津島～徳山航路	経費削減に努め、船舶修繕費等が減少したことにより運航経費が減少した。 工場夜景クルーズ等の貸切運航も、後半期は休止したもの引き続き実施し、利用者数の増加に努めた。 また、自社のホームページを活用し、外部への情報発信を行った。	A	A	島民の減少等により、旅客運送は今後も減少傾向が見込まれ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響についても将来が見通せない状況であるが、航路の維持に向け、徹底した感染症対策を行うとともに、引き続き船費等の経費削減に努め、経営改善に取り組む。 また、関係機関と連携し、効率的な運航体制の構築に向けた検討を行う。 併せてホームページ等を活用した積極的な情報発信に努める。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・工場夜景クルーズをはじめとした観光資源は本航路独自のものであり、コロナの推移を見極めつつ利用促進及び情報発信に取り組んでいただきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
(有)野島海運	野島～三田尻航路	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、クルーズ事業の実施やイベントは軒並み中止となった。 一方、今期はホームページを開設し、運航・欠航情報の随時発信を行い、利便性向上に努めた。	A	A	民間企業・市・航路事業者等が連携を図り、感染症対策を講じながら、クルーズ事業の実施や離島でのイベント開催によって、交流人口の増加を目指す。 また、SNS等の様々な広報媒体を活用して、広くPRすることで利用実績の拡大に努める。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・感染状況を考慮しながら、引き続きHP等を活用しクルーズの実施や島でのイベント開催等により、利用促進及び情報発信に取り組んでいただきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
岩国柱島海運(株)	岩国～柱島航路	修繕費は増加したが、軽油の単価が下落し燃料潤滑油費は減少したため、運航経費は減少した。 市内小学校の柱島自然教室による利用があったが、コロナウイルス感染拡大の影響で柱島、端島、黒島、各島の大規模な清掃作業は中止となった。また、柱島3島連合自治会より、不要不急の来島自粛の要請があったため、乗船人員は大幅に減少した。 例年どおり地域関係者と連携し、登山道の整備行うことで、レジャー客の確保に向けた取り組みを行った。 また、地域おこし協力隊作成(H28)の「柱島群島みどころマップ」を市役所や会社窓口で引き続き配布するとともに、Facebook等による情報発信も引き続き行い、利用促進に努めた。	A	A	引き続き経費節減に努める。 島の過疎・高齢化により利用者が減少しているが、感染症対策を講じながら、島のイベント・レジャー資源等を活かし利用促進を図る。 また、「柱島群島みどころマップ」の配布、Facebook等を活用して情報発信を継続する。 なお、年間利用者数の目標値については、過疎・高齢化(高齢化率85.5%)の状況を踏まえ、より適切な数値を検討する。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・感染状況を考慮しながら、引き続き島のイベントやレジャー資源等を活かし、地域と一体となった利用促進及び情報発信に取り組んでいきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
牛島海運株	牛島～室積航路	島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターや光市地域公共交通協議会等との連携による不定期航路事業への取組みやFacebook等を活用した情報発信等により利用促進を図る。 また、経営健全化の観点から運賃改定に向けた検討を進めるとともに、引き続き船舶修繕費等の経費削減に努める。	A	A	島の過疎・高齢化に伴い利用者が減少する中で、航路を維持するために、コミュニティセンターや光市地域公共交通協議会等との連携による不定期航路事業への取組みやFacebook等を活用した情報発信等により利用促進を図る。利用促進と並行してマスクの着用や待合所・船内での会話の自粛や体温測定、手指消毒など新型コロナウイルス感染症に係る新たな日常の取組みを継続する。 また、経営健全化の観点から運賃改定に向けた検討を進めるとともに、引き続き船舶修繕費等の経費削減に努める。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・引き続き、島のイベント、貸切運航等、地域と一体となった利用促進及び情報発信に取り組んでいただきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
平郡航路(株)	平郡～柳井航路	平郡島の地域おこし協力隊員がFacebook等を通じて島の情報発信を行った。 ウォーキングの企画により、島外から16名の団体客の利用があった。	A	A	島の過疎・高齢化に伴い、利用者が減少する中で航路を維持するために引き続き島の宣伝を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら観光客、釣り客の誘致を図るとともに、地元関係者と協力し、島民関係者の利用促進に努める。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・野外イベントの企画・実施によりコロナ対策を行いながら地域と一体となった利用促進を行っており、引き続き感染状況を考慮しながら情報発信と集客に取り組んでいきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
周防大島町	久賀～前島航路	観光協会と連携し、Facebook等を活用しながら、スナメリウォッチングやクルージング等の観光客増加に努める。新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在スナメリクルージングに係わる利用を休止している。そのため利用客は大幅に減少した。	A	A	今後も感染症対策を講じながら、県協議会のFacebook等を活用して、観光協会と連携し、スナメリウォッチングやクルージング等の観光客数のさらなる増加に努めていく。 ※現在新型コロナウイルス感染拡大防止のためスナメリクルージングに係わる受け入れを休止しており、今後の状況を見極め再開を目指す。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・引き続き、感染状況を見極めながらスナメリウォッチングを中心とした観光資源を活用した利用促進及び情報発信に取り組んでいただきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
周防大島町	伊保田～情島航路	SNSを利用した情報発信により釣り客を中心とした島外利用者の集客に努めた。 ただ、新型コロナウイルス流行の影響を受け、釣り客を中心とした島外利用者の乗船が激減し、利用増加とはならなかった。	A	A	新型コロナウイルス対策を行い、目標達成に向け、利用者が安心して乗船することのできる環境を整える。 また、引き続き1日4便での運航を行い利用者の利便性に配慮しつつ燃料費等の費用負担の抑制を目指す。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・引き続き、感染状況を見極めながら島のイベント等、地域一体となった利用促進及び情報発信に取り組んでいただきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
周防大島町	樽見～日前航路	町商工観光課による体験交流型修学旅行誘致活動やFacebookによる情報発信等により、修学旅行者や釣り客の利用増加を目指した。 しかし、新型コロナウイルス感染防止が全国的に叫ばれた4月の「緊急事態宣言」を契機に、観光利用者が激減、更には不定期便の需要がほとんどなくなってしまい、利用者増加とはならなかった。	A	A	新型コロナの影響を受けることは止むを得ないが、継続して県協議会のFacebook等を活用しつつ、新型コロナ対策等の利用しやすい環境も整え、安心して利用できる航路を目指す。	・コロナウイルスの影響により利用者は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・引き続き、感染状況を見極めながら島のイベント等、地域一体となった利用促進及び情報発信に取り組んでいきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	
上関町	八島～上関航路	イベントの開催や特産品開発などにより、島民や関係機関とが協力して、情報発信等を行い航路利用者の増加を図る取組みを行った。	A	A	室津港棧橋や航路待合所の完成により、乗降時の安全性や利便性が向上することで、利用者数の増加の取組みを行っていく。 また、引き続き、感染症対策に努めるとともに、日常点検の積極的な実施や、修繕費や燃料費の経費削減に努める。	・燃料油について半年ごとに入札を行って経費削減を目指すなど、独自の取り組みを行っている点は評価できる。ハード面の整備も進んでいることから、コロナウイルス感染症の状況を見極めながらさまざまな航路利用促進策を今後実施していただきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
上関航運(有)	祝島～柳井航路	祝島港に続き室津港でも浮 棧橋や待合所が完成。バリア フリー化や駐車場の完備によ り安全性や利便性がより向上 した。	A	A	祝島港や室津港で浮棧橋や 待合所等の受け入れ体制も 整ったことからコロナ終息後 には行政、地元関係者と協力 し引き続き島のアピールをし ていき各種イベント等の開催 等で帰省客・釣り客、観光客 の集客に取り組む。 また引き続き感染症対策を 実施しながら、経費削減に努 め、航路運営の効率化を図る。	・コロナウイルスの影響によ り利用者数は減少したもの の、島民の生活の足として 安定運航を継続しており、事 業は概ね適切に実施されて いると評価できる。 ・ハード面の整備も進んでい ることから、感染状況を見極 めながら、引き続き島のイベ ント等、地域一体となった利 用促進及び情報発信に取り 組んでいただきたい。 ・今後も運航経費の削減や 地域関係者等との連携等を行 うことにより離島住民の生 活に必要な航路の維持・確 保が図られることを期待す る。	

①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
熊南総合事務組合	馬島～麻里府・佐 合島～佐賀航路	学校行事や島でのイベント等に協力し、利用者の増加を計ったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行事やイベントの中止により、貸切運航や臨時便の運航の回数が大きく減少した。 経費については、前年に実施したオーバーホールにより、修繕費を低く抑えることができた。	A	A	高齢・過疎化により島民利用者の減少が見込まれるため、引き続き島でのイベント等の実施を田布施町・平生町へ働きかけ、島民以外の利用者の増加を図ると同時に、船員及び乗客の検温やマスク着用、定期的な船内消毒の徹底など、新型コロナウイルス感染症の感染予防に努める。 また、使用船舶の老朽化による修繕費の増額が見込まれることから、航路利用者の利便性や感染症等の対応に配慮した新船の建造を検討する。	・コロナウイルスの影響により利用者数は減少したものの、島民の生活の足として安定運航を継続しており、事業は概ね適切に実施されていると評価できる。 ・感染状況を見極めながら、引き続き島のイベント等、地域一体となった利用促進及び情報発信に取り組んでいきたい。 ・今後も運航経費の削減や地域関係者等との連携等を行うことにより離島住民の生活に必要な航路の維持・確保が図られることを期待する。	